

平成30年度 第1回坂井市総合教育会議

日時：平成30年7月19日(木)10時00分～

場所：坂井市役所 301会議室

会 議 次 第

1 開 会

2 協 議

(1) 平成30年度坂井市教育委員会主要事業について

- ・教育総務課 小中学校施設等整備計画
- ・学校教育課 教育のICT環境
- ・文化課 歴史文化基本構想
- ・生涯学習スポーツ課 . . . 国際交流事業
- ・国体推進課 しあわせ元気国体・元気大会(日程)
- ・図書館 子どもの読書活動推進事業

(2) 魅力ある学校づくりについて

- ・学校教育課

(3) その他

3 閉 会

小中学校施設等の整備計画について

平成30年7月
総合教育会議

1 小学校の整備計画

教育総務課

児童生徒の安全安心を図るとともに、地域住民の避難場所と機能を確保するため、建築後40年が経過し以前の改修から20年以上が経過している学校、及び新耐震基準(S56年以降)で建築され20年以上経過している学校について、計画的に大規模改修工事(建築・電気・機械)を行う。

小学校	H30 児童数	H36 児童数推計	比較	竣工年度	耐震工事	大規模工事	経過年数 (H30現在)	整備計画	改修スケジュール									
									H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38~
1 三国南小	198	201	3	S48	H24	H6	24年	校舎	→									
2 三国北小	268	221	△ 47	S63	-	-	30年	校舎・多目	H30実施設計書作成									
3 雄島小	235	214	△ 21	S50	H14	-	16年	-	→									
4 加戸小	187	165	△ 22	S51	H16	-	28年	多目等	→									
5 三国西小	174	120	△ 54	S44	H21	H1	29年	校舎	→									
6 平章小	303	246	△ 57	H47・54	H25	H7	23年	東校舎	→									
7 長畝小	311	324	13	S52	H25	H5・13	25年	南校舎	→									
8 高棟小	459	413	△ 46	H54	H23	H23	7年	-	→									
9 鳴鹿小	113	91	△ 22	S53	H21	H21	9年	-	→									
10 磯部小	492	406	△ 86	S50	H10	H10	20年	東校舎	→									
11 明章小	110	68	△ 42	H3	-	-	27年	校舎	→									
12 春江小	576	593	17	S46	H22	H7	23年~37年	北・西校舎	実施設計書作成済									
13 春江西小	355	290	△ 65	S54	H27	H4	26~40年	南・中校舎	整備中									
14 大石小	286	194	△ 92	S55	H27	H6	24~39年	南・北校舎	整備中									
15 春江東小	322	272	△ 50	H19	-	-	11年	-	→									
16 東十郷小	417	346	△ 71	S53	H26	H26	4年	-	→									
17 大関小	170	128	△ 42	S57	H26	H26	4年	-	→									
18 兵庫小	143	78	△ 65	S56	H27	H27	3年	-	→									
19 木部小	89	82	△ 7	S53	H27	H27	3年	-	→									
計	5,208	4,452	△ 756															

* 小学校のプールは、加戸小・雄島小のS49年竣工で40年以上経過、その他の小学校でも30年以上経過している学校が多いため老朽化し、毎年、修繕しながら運用している状況。そのため、平成30年度から教育委員会職員や小学校教員、関係者を含めたワーキングチームを設置し、小学校プールのあり方(利用・整備)について検討する。

中学校	H30 生徒数	H36 生徒数推計	H42 生徒数推計	H42-H30 比較	竣工年度	大規模工 事	経過年数 (H30現在)	整備計画	改修スケジュール									
									H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32~
1 三国中	514	532	454	△ 60	S47	H26~H27	3年	環境整備	耐震・大規模									
2 丸岡中	595	530	449	△ 146	S38	H25~H27	3年	環境整備	耐震・大規模									
3 丸岡南中	387	341	251	△ 136	H18	H25	12年	環境整備	普通空調									
4 春江中	742	745	659	△ 83	S51	H24~H25	5年	環境整備	耐震・大規模									
5 坂井中	390	412	302	△ 88	S44	H23~H25	5年	環境整備	耐震・大規模									
計	2,628	2,560	2,115	△ 513														

学校におけるICT環境整備について

教育のICT化に向けた環境整備5か年計画（2018～2022年度）

新学習指導要領においては、情報活用能力が、言語能力、問題発見・解決能力等と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けられ、「各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図る」ことが明記されるとともに、小学校においては、プログラミング教育が必修化されるなど、今後の学習活動において、積極的にICTを活用することが想定されています。

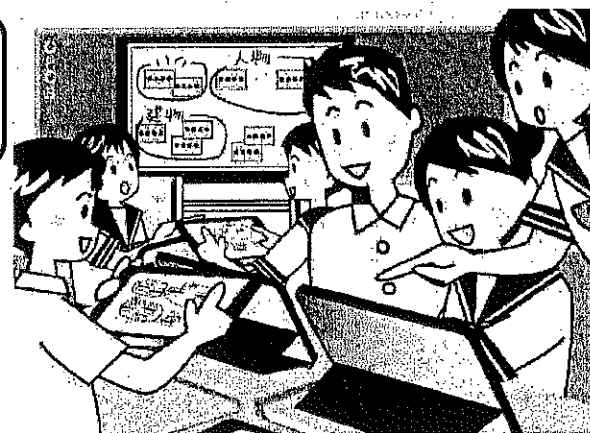
このため、文部科学省では、新学習指導要領の実施を見据え「2018年度以降の学校におけるICT環境の整備方針」を取りまとめるとともに、当該整備方針を踏まえ「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画（2018～2022年度）」を策定しました。また、このために必要な経費については、2018～2022年度まで単年度1,805億円の地方財政措置を講ずることとされています。

2018年度以降の学校におけるICT環境の整備方針で目標とされている水準

- 学習者用コンピュータ 3クラスに1クラス分程度整備
- 指導者用コンピュータ 授業を担当する教師1人1台
- 大型提示装置・実物投影機 100%整備
各普通教室1台、特別教室用として6台
（実物投影機は、整備実態を踏まえ、小学校及び特別支援学校に整備）
- 超高速インターネット及び無線LAN 100%整備
- 統合型校務支援システム 100%整備
- ICT支援員 4校に1人配置
- 上記のほか、学習用ツール^(※)、予備用学習者用コンピュータ、充電保管庫、学習用サーバ、校務用サーバ、校務用コンピュータやセキュリティに関するソフトウェアについても整備

(※) ワープロソフトや表計算ソフト、プレゼンテーションソフトなどをはじめとする各教科等の学習活動に共通に必要なソフトウェア

1日1コマ分程度、
児童生徒が1人1台
環境で学習できる環
境の実現



教育 I T 化に向けた環境整備方針

(文部科学省 2018～2022 年度で単年度 年間総額 1,805 億円の地方財政措置)

第3期教育振興基本計画(国)

新学習指導要領において、情報活用能力が、言語能力、問題発見、解決能力等と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置づけられ、各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図ることが明記されるとともに、小学校においては、プログラミング教育が必修化されるなど、今後の学習活動において、積極的に I C T を活用する。

2018年度以降の各学校における I C T 環境の整備方針で目標とされる水準

国の方針	2018年度現在の 坂井市の整備状況	達成度
○学習用コンピュータ 3クラスに1クラス分	・コンピュータ教室に1人1台分 配備 ・タブレット端末各学校6台以上 ⇒市教育委員会として方針	△
○指導者用コンピュータ 教師1人1台	校務用コンピュータ配置 教師1人1台	○
○大型提示装置・実物投影機 100%整備各普通・特別教室	・電子黒板各校1台以上 ・移動スクリーン・プロジェクター ⇒市教育委員会として方針	△ 検討
○超高速インターネット無線LAN	高速無線LAN整備	○
○統合型校務支援システム 100%整備	県が準備する校務支援システム の使用検討(保守費用は市費)	検討
○I C T 支援員 4校に1人配置	I C T 支援員の配置	検討

坂井市の歴史文化基本構想について

1 歴史文化基本構想等の概要

【歴史文化基本構想】

「歴史文化基本構想」とは、地域に残る文化財等(歴史・文化)を掘り起こし、歴史文化を活かしたまちづくりの構想を策定するもの。坂井市に残る歴史・文化を総合的に把握し、どのように坂井市の歴史・文化が育まれてきたのか、ストーリー化し、それに各文化財群を明確にすることができる。分類化された文化財群をもとに、坂井市の歴史文化の保存・活用方法を探り、計画にまとめることで、文化財のマスタープランともなる。

また、文化庁では、この構想が地域のまちづくりにも活かされることを期待している。福井県内では、小浜市・若狭町が策定しており、平成 27 年 4 月に「御食国若狭と鯖街道 海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産」のテーマで日本遺産に認定されている。

【実施内容】

運営にあたっては、専門家、関係行政機関(県等)で構成された委員会を設置する。そこで、テーマ、文化財群、文化財等の調査内容等を協議していく。文化財群やテーマを設定するにあたり、坂井市の歴史・文化を把握する必要があることから、既存調査に加え、不足している寺社(建築、美術工芸品)・民俗(街道関連・伝統行事)・古墳群の調査が必要と思われる。

【テーマ】(委員会で議論する中で設定されるもの) ※坂井市はこれからである

(例) 小浜市と若狭町

「御食国若狭の継承、そして発展—若狭の文化 食にあり—」

【関連文化財群】

●坂井市の関連文化財群の核 仮候補(悉皆調査後に確定していくものである)

「安島と玉作り文化」「六呂瀬山古墳群周辺の古墳群域」「興福寺荘園等」

「北陸街道と中世寺院」「三國湊と舟運」「丸岡城」他

(補完要素)

民俗(地蔵盆、報恩講等、各地区に残る行事)、食(郷土料理、儀礼食)、文学者・人物

2 歴史文化基本構想策定の進め方

平成 29 年度 ・歴史文化基本構想に関する講演会開催(5/26 高棕コミュニティセンター)

・基礎データの収集(平成 30 年度も継続)

既存調査資料リスト、食リスト、伝統行事リスト、伝統工芸リスト、
文学者リスト、人物リスト

(各町史以外に個人出版の図書も含め、文化財候補データを収集)

活動団体リスト、関連事業リスト、関連施設リスト
(行政・コミュニティセンター・学校・企業の関連事業、
関連施設データを収集)

- ・文化庁主催研修の参加
- ・地元への協力依頼

- 平成 30 年度
- ・策定委員会の設置要項作成
 - ・国庫補助予算の作成 (委員会旅費、調査費他)
 - ・講演会 (周知用説明会) の開催
 - ・ワークショップの開催
 - ・文化庁主催研修の参加
 - ・地元への協力依頼

- 平成 31 年度～平成 33 年度
- ・策定委員会の開催
 - ・基礎調査の実施
 - ・フォーラム (説明会)、ワークショップの開催
 - ・構想 (計画書) の策定

※平成 31 年度～平成 33 年度の 3 ヶ年は国庫補助を利用し、実施する予定。

歴史文化基本構想等策定のスケジュール

平成 31 年度

第1回委員会開催

策定方針、策定内容、テーマ、文化財群、スケジュール、ワーキング設置を協議



ワーキンググループ開催

リーダーを中心に必要に応じ、開催数を決定、調査と連動



市民シンポジウム(説明会)開催

坂井市内の歴史文化、基本構想の概要を説明
文化財群毎のワークショップへの参加協力

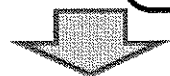


調査の実施

- 寺社悉皆調査 (~H33)
- 民俗調査 (~H33)

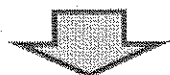
ワークショップ開催

ワーキングを中心に文化財群毎に開催
市民が考える構成要素や取組を反映



第2回委員会開催

調査結果中間報告、テーマ・文化財群検討、次年度以降のスケジュールを協議



年度まとめ・実績報告

平成 32 年度

ワーキンググループ開催

今年度の運営・調査方針の決定
その後は必要に応じ、開催



第3回委員会開催

変更委員(宛職)、テーマ・文化財群検討、今年度のスケジュール、調査内容を協議



市民シンポジウム(説明会)開催

文化財調査の中間報告、今後の調査方針説明
文化財群毎のワークショップへの参加協力



調査の実施

- 寺社悉皆調査 (継続)
- 民俗調査 (継続)
- 古墳群調査 (新規)

ワークショップ開催

ワーキングを中心に文化財群毎に開催
市民が考える構成要素や取組を反映



第4回委員会開催

調査結果中間報告、テーマ・文化財群検討、次年度以降のスケジュールを協議



年度まとめ・実績報告

平成 33 年度

ワーキンググループ開催

今年度の運営・調査まとめの準備
その後は必要に応じ、開催



第5回委員会開催

変更委員(宛職)、テーマ・文化財群最終確認、今年度のスケジュール、最終策定内容を協議



調査の実施・まとめ

- 寺社悉皆調査 (継続)
- 民俗調査 (継続)
- 古墳群調査 (継続)



第6回委員会開催

策定内容の最終協議
報告書・市民配布用パンフレット内容を協議



報告書・パンフレット印刷・配布



3カ年まとめ・実績報告

平成30年度英国青少年招へい事業

日程 平成30年6月27日(水)～7月6日(金)

招へい者 生徒25人 引率者4人 合計29人

	月日	日程	宿泊	滞在地
1	6/27(水)	カーディフ市出発	機中泊	機内
2	6/28(木)	関西空港着 坂井市へ	坂井市内ホテル	坂井市
3	6/29(金)	春江中学校での交流または校外学習 市長表敬訪問、ホスト対面式	ホームステイ①	坂井市
4	6/30(土)	ホストファミリーと自由行動	ホームステイ②	坂井市
5	7/1(日)	ホストファミリーと自由行動	ホームステイ③	坂井市
6	7/2(月)	丸岡中学校にて交流	ホームステイ④	坂井市
7	7/3(火)	校外学習(教育研究所見学等) 春江中学校にて交流	ホームステイ⑤	坂井市
8	7/4(水)	関西方面へ	大阪市内ホテル	大阪
9	7/5(木)	大阪観光	大阪市内ホテル	大阪
10	7/6(金)	関西空港発 カーディフ市着	機中泊	機内

平成30年度英国派遣事業

日程 平成31年3月13日(水)～3月22日(金)

派遣団員 生徒27人 引率者5人 合計32人

	月日	日程	宿泊	滞在地
1	3/13(水)	坂井市出発 カーディフ市へ	カーディフ市内ホテル	カーディフ
2	3/14(木)	市長表敬訪問 交流校にて交流	ホームステイ①	カーディフ
3	3/15(金)	交流校にて交流、授業参加	ホームステイ②	カーディフ
4	3/16(土)	ホストファミリーと自由行動	ホームステイ③	カーディフ
5	3/17(日)	ホストファミリーと自由行動	ホームステイ④	カーディフ
6	3/18(月)	交流校にて交流、授業参加	ホームステイ⑤	カーディフ
7	3/19(火)	バース、オックスフォード研修	オックスフォードホテル	オックス フォード
8	3/20(水)	オックスフォード研修	ロンドン市内ホテル	ロンドン
9	3/21(木)	ロンドン研修 ヒースロー空港発	機中泊	機内
10	3/22(金)	羽田空港着 坂井市へ		

※英国滞在時のスケジュールは変更する場合があります。

※三国ロータリークラブの協賛により、予定していた25名の団員数から2名増員。

平成30年度 坂井市国際交流事業
「English Day 2018」要項

1. 目的 英国招へい・派遣事業のほかに、坂井市在住の坂井市内中学生が参加できる国際交流イベントを開催する。坂井市内で、ALTなどネイティブスピーカーと様々な活動を通して楽しく英語に触れ、国際理解を深めることを目的とする。
2. 主催 坂井市教育委員会 生涯学習スポーツ課
3. 対象 坂井市内在住の坂井市内中学1～3年生
(わんぱく少年団の活動と合同開催のため、他に坂井市内の小学5・6年生のわんぱく少年団員の参加があります。)
4. 日時 平成30年12月15日(土) 9:00～16:00
5. 場所 高棕コミュニティセンター (丸岡町西里丸岡 12-21-1)
6. 内容 (1) ALTによるEnglish Game
(2) English Cooking (All Englishの調理活動)
(3) クリスマスにちなんだアクティビティ
(オーナメント作り、プレゼント交換など)

平成30年度 坂井市国際交流事業
「A Sneak Peek! 覗いてみよう! 英国派遣事業」要項

1. 目的 坂井市内の中学1年生に、来年自分たちが対象となる英国派遣事業の事前研修に参加してもらい、本事業の活動や様子について理解を深め、興味をもってもらおう。
2. 主催 坂井市教育委員会 生涯学習スポーツ課
3. 参加者 坂井市内の中学1年生25名程度
平成30年度坂井市英国派遣団員
4. 日時 平成31年2月2日(土) 8:30～14:30
5. 会場 三国コミュニティセンター
(☎82-6400 三国町北本町2丁目1番33号)
6. 内容 (1) ALTによる語学研修
(2) 市内中学生との交流
(3) 英国派遣団員の日本文化紹介練習および発表の見学、参加

福井しあわせ元気国体・元気大会等日程（坂井市開催）

【正式競技】第73回国民体育大会 2競技・5種目

競技名	種別	参加数	競技会場名	日程
サッカー	成年男子 少年男子 女子	16 チーム 24 チーム 16 チーム	・テクノポート福井総合公園スタジアム、芝生広場 ・三国運動公園陸上競技場、人工芝グラウンド ・丸岡スポーツランドサッカー場、人工芝グラウンド	平成30年9月30日（日）～10月4日（木）
バレーボール	少年男子 少年女子	24 チーム 24 チーム	丸岡体育館 三国体育館	平成30年10月5日（金）～8日（月）

【デモンストレーションスポーツ】5競技

競技名	競技会場名	競技内容	日程（予定）
バウンドテニス	三国体育館	・競技の部 ・交流の部	平成30年9月2日（日）
エアロビック	春江中学校体育館	・交流の部 ・チームの部	平成30年9月2日（日）
バトン	坂井中学校体育館	・パフォーマンスの部 ・交流の部	平成30年8月26日（日）
ディスクゴルフ	坂井市海浜自然公園 ディスクゴルフコース	・オープンの部 ・小学生の部 ・交流の部	平成30年9月16日（日）
ドッチビー	三国体育館	・オープンの部 ・小学生低学年の部 ・小学生高学年の部	平成30年8月26日（日）

【障害者大会】第18回全国障害者スポーツ大会 2競技

競技名	種別	参加数	競技施設名	日程
サッカー	知的障害	7 チーム	丸岡スポーツランドサッカー場、人工芝グラウンド	※平成30年10月13日（土）～15日（月）の間
フライングディスク	知的・身体障害	約600人	三国運動公園陸上競技場、人工芝グラウンド	

平成30年度 広報啓発事業

機運醸成事業及び市民運動

事業名	事業会場	事業内容	期日
炬火イベント	主会場：ゆりの里	国体会場で採火（火おこし）し、坂井市内を炬火リレーでつないで、ゆりの里にて集火し、坂井市の火をつくる。 ※この火は9月1日の県の集火式において各市町の火を集結し、総合開会式において炬火台に点火される。	平成30年6月10日 (日)
福井国体バレーボール競技強化・応援プロジェクト	三国体育館	福井国体出場チームと県外強豪2チームによるエキシビジョンゲームを行った後、元女子バレーボール日本代表の狩野舞子氏によるトークショー、バレーボールクリニックを行う。	平成30年7月8日 (日)
国体・障スポ融合イベント	ハートピア春江	地元出身者を有するAKB48チーム8の応援ライブを中心にヒナタカコミニライブ、車椅子ダンス、AKBメンバーによる障スポ種目であり坂井市開催種目であるフライングディスク体験と国体ダンスである「はびねすダンス」を披露する。入場対象は一般入場者と招待された障がい者で構成され、国体・障スポの融合を図る事業を行う。	平成30年7月15日 (日)
坂井市決起集会	ハートピア春江	ボランティアを対象にしたおもてなし講演による研修後、坂井市開催競技の役員、ボランティア及び坂井市実行委員会委員が集結し、国体、障スポ出場チームの激励と来場した全員が国体・障スポの成功を祈った決起大会を行う。	平成30年8月25日 (土)
花いっぱい運動	坂井市全域	まちづくり協議会、各小中学校、企業、有志団体等が全国から来訪する方々に会場を花でいっぱいにする、花のプランターづくりを長期に亘り育成する。	～平成30年9月28日 (金)
クリーンアップ運動	競技会場及び坂井市全域	国体・障スポ会場及びその周辺を坂井市民の協力により清掃作業を行う。	平成30年9月22日 (土)

※福井しあわせ元気国体を「国体」福井しあわせ元気大会（全国障害者スポーツ大会）を「障スポ」と通称で記載しております。

「魅力ある学校づくり」

学校教育課

1 「魅力ある学校づくり」とは

不登校の児童生徒は、近年、増加傾向にある。「魅力ある学校づくり」は、全ての児童生徒を対象に「誰もが通いたくなる学校」をつくることで、不登校を未然に防いでいくという考え方である。

児童生徒の不登校の原因として、まず、①友だち関係と②勉強関係の2つが考えられる。その2つをプラスの方にする事で、「魅力ある学校」つまりは「誰もが通いたくなる学校」になり、結果的に不登校が出なくなるという考え方である。

それは全児童生徒に対する「集団指導」であり、チーム学校（教職員の同僚性）で取り組むものである。そのために、全ての児童生徒の声（意識調査）聞き、教職員との意識のズレを補正しながら、よりよい学校にするための方策を考え実行するものである。そして、教職員がさらに良い学校にするための方策を考え実行する（PDCAサイクル）ものである。

坂井市教育委員会は、平成28年度～29年度、文部科学省から研究指定を受けて実践に取り組んできた。平成30年度は、坂井市の研究実践の成果が福井県全体に広まり、県下すべての小中学校において、取り組まれている。

2 平成28年度の実践

- (1) 丸岡中学校区をモデル校区(1中学校+3小学校)として研究を推進してきた。
- (2) 現場の先生方に「魅力ある学校づくりとは何か」を理解してもらった。
- (3) 児童生徒による小中交流
 - ・小学生が不安なく期待をもって中学校に入学できるように。
- (4) 教職員による小中交流連携
 - ・お互いの学校の授業参観で授業力を高める。
- (5) 不登校の初期対応についての研究実践

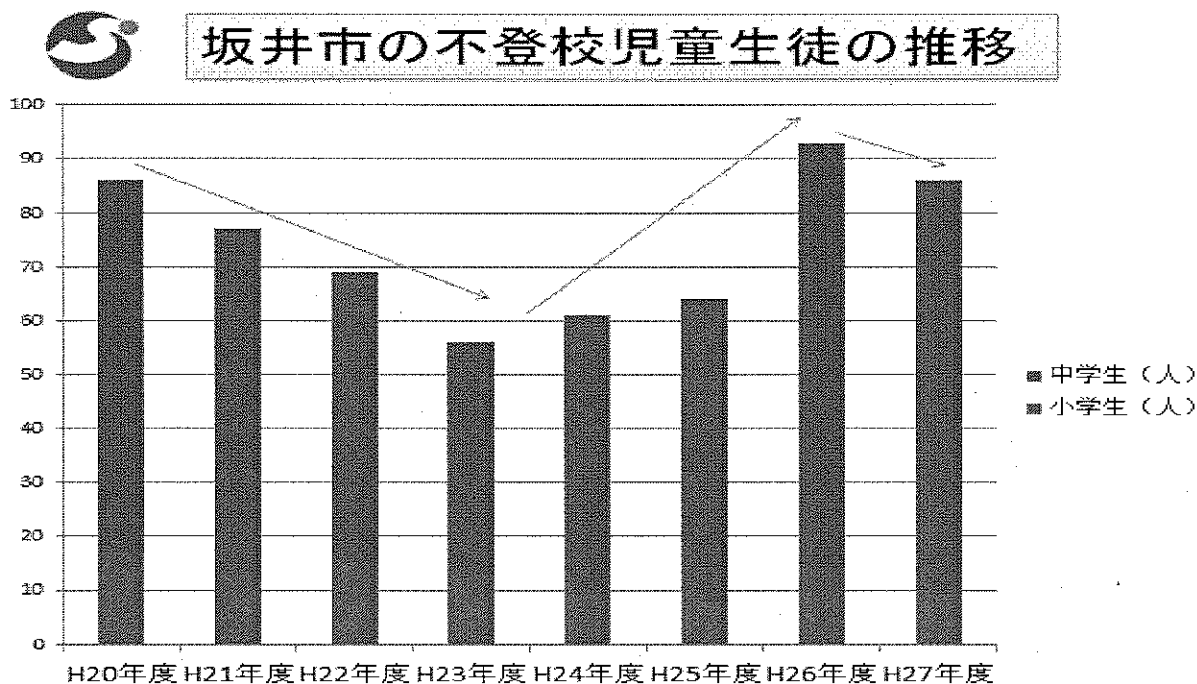
3 平成29年度の実践

- (1) 「魅力ある学校づくり」のコンセプトを指導主事とモデル校の担当教員で市内全ての教員に広める。
- (2) リーフレットの活用
「魅力ある学校づくり」のリーフレットを作成し、魅力ある学校づくりの考え方、意識調査からPDCAシート作成までのながれ、モデル校区での実践の成果や課題について広めた。
※市内全小中学校の教職員全員に配布した。
- (3) 指導主事による児童生徒の各校の意識調査の分析と学校への指導
 - ・「学級経営」「楽しくわかる授業づくり」の指導
- (4) 他の市町や県全体に「魅力ある学校づくり」の本市の実践についての説明
 - 平成29年度 県いじめ・不登校対策研修会
 - 平成29年度 県指導主事等連絡協議会 など

4 平成30年度の取組

今年度より、「魅力ある学校づくり」の取組は、福井県全市町全小中学校で取り組まれることになった。坂井市も継続して取り組んでいく。今年度は各学校主体で意識調査やPDCAシートを作成し、さらに魅力ある学校づくりに取り組んでいく。

【資料】



<中学校不登校生徒数の推移>

①市全体の中学校の不登校生徒数

	26年度	27年度	28年度	29年度
a 不登校生徒数	79	77	69	58
b うち継続数	36	46	34	32
c うち新規数 (a-b)	43	31	35	26

②全中学校区における学年別不登校児童生徒数 (小学6～中学2年生)

中学校名	不登校児童生徒数								
	校区小学6年生			中学1年生			中学2年生		
	H27	H28	H29	H27	H28	H29	H27	H28	H29
三国中学校	2	0	0	6	3	4	7	4	4
丸岡中学校	0	1	0	3	1	2	7	5	3
丸岡南中学	0	0	1	2	2	0	0	3	3
春江中学校	0	1	2	1	3	4	11	8	6
坂井中学校	0	0	0	4	1	0	3	7	2

三国学校給食センター概要

平成30年7月19日
総合教育会議 資料
学校教育課

1. 敷地概要

坂井市三国町楽円53字3番 ほか 9,098㎡のうち約7,000㎡を利用

2. 建築概要

- 建築面積 2,311.56㎡
- 延床面積 2,950.90㎡ (現給食施設 1,450㎡)
 - 1F 2,213.67㎡ (調理室・市・受託者事務室・車庫・配送風除室)
 - 2F 737.23㎡ (研修室・更衣室・休憩室・食堂・機械室)
- 構造 鉄骨一部2階建 文科省耐用年数28年

3. 工事費

工事種別	全体工事費	30年度予算	31年度予算
建築工事	649,000	223,000	426,000
電気設備工事	179,000	0	179,000
機械設備工事	307,000	0	307,000
厨房設備工事	255,000	0	255,000
計	1,390,000	223,000	1,167,000

4. 工事等工程

- 平成30年 7月12日 工事入札公告
8月3日 入札開札
9月議会 議決 事業者確定
工事着工
- 平成31年 4月以降 調理業務委託プロポーザル
12月 工事完成
- 平成31年 1月～ 委託業者研修
4月 給食提供開始

4. 設備概要等

- 1日最大3,500食に対応
- 幼保園、小中学校に配食(アレルギー食、離乳食に対応) センターでの離乳食調理は全国的にも珍しい
- 小中学校長期休業時の省力化(幼保園用個別室設置)

5. 運営方針

